

## 理工学研究科（博士課程） 学位論文基準等

### （学位論文基準）

1．提出する学位論文は、審査制度のある国内又は外国の学術雑誌、学会誌等に掲載されているか、または、掲載が決定されている原著論文に基づいていること。ただし、申請者は少なくともその原著論文1編の第一著者であること。

なお、論文博士の学位論文の場合は、第一著者である原著論文が3編以上あること。ただし、博士後期課程に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて退学した者が、退学したときから1年以内に学位論文審査を申請した場合は、課程博士の学位審査基準による。

2．前項にかかわらず、学位論文が、上記に伍する評価を得ている学術雑誌等に掲載された原著論文に基づいていること。

3．これらの判断は、各専攻の定めるところによる。

### （評価項目）

#### 1．研究主題（テーマ）の意義

論文の問題設定が、当該分野の学問的蓄積を踏まえて明確に示され、学術的あるいは社会的な意義を有すると認められるか。

#### 2．先行研究の理解と提示

研究主題の探求に際して、利用した資料や文献が網羅され、それらの精確な読解や的確な評価が行われているか。また、論旨を展開するうえで適切に言及されているか。

#### 3．研究方法の妥当性

研究主題探求のために採用された、理論、実験、シミュレーション、試作・試行、調査あるいは資料収集などの研究方法が適切かつ効果的に用いられているか。また、法令等を遵守し、研究倫理面に配慮した研究方法がとられているか。

#### 4．論証方法や結論の妥当性と意義

問題設定から結論にいたる論旨が、明確で実証的かつ論理的に展開されているか。また、導き出された論旨・結論が、当該分野において、新規性、独創性を持った学術的貢献や高い有用性のある社会貢献となっているか。

#### 5．論文の形式・体裁

語句の使い方や文章表現は的確か。学位論文としての体裁は整っているか。文献等は正しく引用され、図表等の引用元は明らかにされているか。

### （評価基準）

上記1～5の評価項目すべてについて、博士學位論文として水準に達していると認められるものを合格とする。